

倫理学

Ethics



院生アルバイト
「りぶおる」プレゼンツ

りるNavi

特定のトピックや主題に関する資料・
情報を収集する手順をまとめた調べ方案内
(バスマインダー) です。

りるNavi
Ritssho University
Library Learning Navigation

りぶおる
学生アルバイト「りぶたま(Librarianの卵)」
から発展した院生アルバイトの名称。
知の象徴である鳥【Owl】から派生して
名付けました。知識や知恵を集結させ
て生かしていく姿が、大学院生たちの
精鋭さを表しています。

倫理学とは

世間で通用している道徳をそのまま受容するのではなく、それについて哲学的な反省を加え、どのような原理に従って生きるのが真に道徳的な生き方であるかを探究する学問。あるいは同じことだが、倫理学とは、人間はいかに生きるべきかを考え、人間らしく生きるためにはどのような生き方を選んだらよいかを探究する学である、ともいえよう。そうした意味では、ソクラテスの場合のように、倫理学はもともと哲学と一体であるが、アリストテレスによる理論学と実践学の区別は、近世以降、哲学内部における理論哲学と実践哲学の区別として定着し、今日では倫理学は実践哲学として、哲学の一部門とみなされるのが普通である。 (『日本大百科全書』より引用)

分類 (NDC9版)

図書館の書架を調べる際は、次の分類を中心に探すとよい。

分類番号	分野
110	哲学各論
120	東洋思想
130	西洋哲学
150	倫理学・道徳
151	倫理各論

分類番号	分野
152	家庭倫理・性倫理
153	職業倫理
154	社会倫理 [社会道徳]
159	人生訓・教訓
490	医学

辞典・事典

以下【 】内は立正大学図書館における請求記号と所在を示す。

- 『新倫理学事典』【150.3/Sh69 品川 2F 参考】 金子武蔵編, 弘文堂, 1970
倫理学のあらゆる問題を、西洋倫理思想史・東洋倫理思想史・倫理学体系及び道徳教育の4つに大別。倫理思想史の流れと、体系的構成を捉えることができる。
- 『現代倫理学事典』【150.3/O-11 品川 2F 参考】 大庭健[ほか]編, 弘文堂, 2006
現代社会の倫理・モラルへの関心と、「人生、いかに生きるべきか」という問いを背景に、日々の具体的な倫理的問題を取り上げる。倫理・モラルについて考えるガイドとなる一冊。
- 『社会と倫理辞典』【150.3/Sh12 品川 2F 参考】 立正大学哲学研究室編, 日本評論社, 1968
高校の「倫・社」の教科内容を充足させるための辞典として刊行された。

入門書

- 『現代倫理学入門』【080/講学/1267 品川 1F 文庫】 加藤尚武, 講談社, 1997
日常で出会う具体的な倫理問題を取り上げた、現代倫理学の入門書。現代を生きる者であれば誰もが直面する身近な問題を考える。
- 『これからの「正義」の話しよう : いまを生き延びるための哲学』【311.1/Sa62 品川 B1 図書】 マイケル・サンデル著, 鬼澤忍訳, 早川書房, 2011
哲学への認識を覆した NHK の番組『ハーバード白熱教室「JUSTICE」』をまとめ、「正義」について様々な角度から検証している。AV 資料コーナー (図書館 1F 入口設置) には講義の DVD もある。【311.1/DVD/11-0010 品川 B3AV】

■ 『「正しさ」の理由：「なぜそうすべきなのか？」を考えるための倫理学入門』【150/N37 品川1F図書】 中村隆文，ナカニシヤ出版，2018
規範倫理学、メタ倫理学、応用倫理学の基本を一冊で学べる入門書。「他者と分かり合いたいけど分かり合えなかった痛み」という、倫理的問題の出発点に問いかける。

■ 『メタ倫理学入門：道徳のそもそもを考える』【150/Sa85 熊谷開架1F和書】 佐藤岳詩，勁草書房，2017
そもそも善悪とは何か？正しいこととは何なのか？というメタ倫理学の議論における様々な論点を丁寧に整理する。一歩下がって倫理の「そもそも」を問い直すための入門書。

■ 『基礎から学ぶ生命倫理学』【490.15/Mu43 品川B1図書】 村上喜良，勁草書房，2008
医療やバイオテクノロジーが発達し、私たちの生活は根底から大きく揺らいでいる。生命倫理学の問題の争点を整理したうえで、人間が生きてはどのようなことが描き出される。命や人生について考えるための手引きとなる一冊。

■ 『はじめての動物倫理学』【480.9/Ta17 品川B1図書】 田上孝一，集英社，2021
動物と人間の新たな関係を問う、動物倫理学の入門書。動物倫理と環境倫理の問題を取り上げつつ、マルクス研究の視点から、現代に求められる動物との付き合い方を説く。

■ 『Covid-19の倫理学：パンデミック以後の公衆衛生』【490.1/Ko18 熊谷開架1F和書】 児玉聡著，ナカニシヤ出版，2022
京都大学のオンライン公開講義シリーズ「立ち止まって、考える」が書籍化。外出自粛要請、人工呼吸器の配分、ワクチン接種の義務化など、パンデミック下における様々な難問について議論するための講義を収録している。

■ 『未来倫理』【150/To78 品川1F図書】 戸谷洋志著，集英社，2023
私たち現在世代の行動は時として、まだ生まれていない、これから生まれてくる世代を脅かすことがある。未来世代への責任を考える「未来倫理」についての書。

雑誌

■ 『立正大学哲学会紀要』【R-1/124 品川B3紀要（新刊・目次は3F立正大学紀要コーナー）】立正大学哲学会
立正大学哲学会員の研究論文を収載する機関誌。哲学の全領域にわたる内容を対象としている。

■ 『哲学』【105/23 品川B3雑誌（新刊は3F開架雑誌コーナー）】 日本哲学会
日本哲学会によるシンポジウム、共同討議、応募論文等が収録されている。

■ 『倫理学年報』【150.5/1 品川B3雑誌（新刊は3F開架雑誌コーナー）】 日本倫理学会
日本倫理学会が刊行する機関誌。多岐にわたる倫理的課題を取り扱った研究論文等が掲載されている。

インターネット 学会サイト等

■ 『日本哲学会』 <https://philosophy-japan.org/>
哲学研究の発展と研究者間の活発な交流を目的とし、研究・教育と、現代社会における哲学の役割を討論している。研究成果は機関誌『哲学』にまとめられる。

■ 『日本倫理学会』 <https://nitirin.org/>
1950年、和辻哲郎を会長として発足。以後、倫理に関する研究およびその普及を図ることを目的とする。

■ 『関西倫理学会』 <https://kansai-rinri.org/>
1950年、近畿の倫理学研究者が集まり、日本倫理学会に先駆けて創設された。倫理学および道徳教育の研究を目的とする。